

1990年から続く一般の方を対象とした哲学入門講座です。
様々な角度から哲学・宗教・芸術・倫理などについて学びます。

2020年度 西田幾多郎

哲 学 講 座

回	日時	内容	講師
①	4月18日 [土] 午後1時30分	西田幾多郎直筆ノートを開く - 講義と思索の軌跡を辿る -	石川県西田幾多郎 記念哲学館館長 浅見 洋
②	5月23日 [土] 午後1時30分	西田先生水濡れ資料（幾多郎ノート）の救出	NPO 法人書物研究会 代表 板倉 正子
③	5月24日 [日] 午前10時	京都学派研究に使われている情報技術 - 幾多郎ノート翻刻を中心に -	京都大学名誉教授 林 晋
④	7月11日 [土] 午後1時30分	中世哲学が古代から受け継いだもの - アリストテレスの影響 -	慶應義塾大学教授 山内 志朗
⑤	7月12日 [日] 午前10時	中世哲学の独自性 - キリスト教哲学 -	
⑥	9月12日 [土] 午後1時30分	石川県に関する修験道の話	小松短期大学名誉教授 由谷 裕哉
⑦	1月30日 [土] 午後1時30分	ジェイムズ哲学入門 - 純粹経験と多元論 -	龍谷大学教授 京都大学名誉教授 伊藤 邦武
⑧	1月31日 [日] 午前10時	パース哲学入門 - 人間記号論 -	
⑨	3月13日 [土] 午後1時30分	若き西田幾多郎と明治という時代	関西大学名誉教授 井上 克人
⑩	3月14日 [日] 午前10時	明治アカデミー哲学の系譜から見た西田哲学	



1回からでも
気軽に参加
できる！

※石川県民大学校連携講座として、各回2単位を取得できます。必要な方は受付で学びカードをご提示ください。
※かほく市民大学校の対象講座として、各回4単位を取得できます。必要な方は受付で受講カードをご提示ください。

申込方法 [各回受講] 申込不要です。直接会場にお越しください。
[年間受講] 住所・氏名（フリガナ）・電話番号を、葉書・電話・FAX・E-mail などにて右記までお申し込みください。申し込みは随時受け付けております。

※各回受講から年間受講への変更はできませんので、ご注意ください。
※個人情報、当館主催事業または県民大学校に関する目的以外には使用しません。
※天候などの不測の事態により講座が中止になった場合、年間受講料の返金はいたしかねますのでご了承ください。

受講料 1回：500円、年間：2,000円

会場 石川県西田幾多郎記念哲学館

お問い合わせ

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内白角 井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
E-mail : nishida-museum@city.kahoku.lg.jp
http://www.nishidatetsugakukan.org/



2020年度
西田幾多郎哲学講座

講師、各講座のご紹介

浅見 洋 石川県西田幾多郎記念哲学館館長、石川県立看護大学特任教授

① 4月18日 [土] 午後1時30分
西田幾多郎直筆ノートを開く - 講義と思索の軌跡を辿る -

■講師、講座の紹介

2015年10月、大量のノート類がみつきり、哲学館では多くの関係機関の協力を得て、その修復と翻刻のプロジェクトを進めています。その中に、幾多郎が京都大学赴任直後に行った倫理学と宗教学の講義ノートもありました。彼の講義は、単に教科書的な知識を教えるのではなく、彼がまさに練り上げつつある哲学と一体になっていました。プロジェクトを概観し、ノートから見えてくる彼の思索の軌跡を辿ります。

■専門分野

西田幾多郎、日本哲学史、死生学

■主な著書・論文

『西田幾多郎—生命と宗教に深まりゆく思索』(春風社)
共著『西田幾多郎未公開ノート類研究資料化 報告』(西田幾多郎記念哲学館)

坂倉 正子 NPO 法人書物研究会代表

② 5月23日 [土] 午後1時30分
西田先生水濡れ資料(幾多郎ノート)の救出

■講師、講座の紹介

発見されたノートは湿気を帯び、カビの甘い香りを放ち、そのままでは損壊は時間の問題でした。和紙に墨書きの資料と比べて、洋紙にインクの資料はとてつもない脆い、その上、水に濡れているという悪条件の中、哲学館の修復プロジェクトに関わって、資料を救ってくださった書物の専門家にお話を伺います。

■専門分野

書物修復

■主な著書・論文

監修『図書の修理 とらの巻』(書物研究会)

林 晋 京都大学名誉教授

③ 5月24日 [日] 午前10時00分
京都学派研究に使われている情報技術 - 幾多郎ノート翻刻を中心に -

■講師、講座の紹介

翻刻は一人ではなく、チームで読むとうまく進みます。幾多郎ノートの翻刻も、京都大学と金沢大学でチームを作っていただいで進めています。その際に使ったのが Smart-GS という翻刻のためのソフトでした。このソフトを開発し、京大の翻刻チームを率いていただいた林先生に、歴史資料研究で情報技術がどのように生かされているのか、お話しいただきます。

■専門分野

歴史学(思想史、数学史、情報技術史)、人文情報学

■管理するアーカイブ

京都学派アーカイブ

山内 志朗 慶應義塾大学教授

④ 7月11日 [土] 午後1時30分
中世哲学が古代から受け継いだもの - アリストテレスの影響 -

⑤ 7月12日 [日] 午前10時00分
中世哲学の独自性 - キリスト教哲学 -

■講師、講座の紹介

ヨーロッパの中世では、教会や修道院附属の学校(スコラ)で学問的な探求が行われました。こうした中世の哲学をスコラ哲学といいますが古代や近代の哲学と比べるとあまり知られていないかもしれません。ひとりでは学びにくい中世哲学の基本的な特徴を、分かりやすくお話しいただきます。

■専門分野

中世哲学、ライブニッツ哲学

■主な著書・論文

『感じるスコラ哲学』(慶應義塾大学出版会)

由谷 裕哉 小松短期大学名誉教授

⑥ 9月12日 [土] 午後1時30分
石川県に關係する修験道の話

■講師、講座の紹介

修験道は山岳信仰の一形態で、白山はその信仰の地として有名です。白山に最初に登ったとされる泰澄の開山の伝承や『平家物語』などの物語に登場する源平争乱の時代の修験道など、石川県にまつわる様々なエピソードや資料を使って、現代にまで続く修験道とは何かを分かりやすくお話しいただきます。

■専門分野

宗教民俗学、修験道

■主な著書・論文

『サブカルチャー聖地巡礼—アニメ聖地と戦国史跡—』(岩田書院)

伊藤 邦武 龍谷大学教授、京都大学名誉教授

⑧ 2021年1月30日 [土] 午後1時30分
ジェイムズ哲学入門 - 純粋経験と多元論 -

⑨ 2021年1月31日 [日] 午前10時00分
パース哲学入門 - 人間記号論 -

■講師、講座の紹介

西田哲学の用語「純粋経験」は、もともとアメリカの哲学者ジェイムズが使った言葉でした。世界は「未完結の開かれた全体」だと考えたジェイムズの多元論の思想と、その友人で、記号抜きでは思考できない我々のありように注目したパースの「人間記号論」についてお話しいただきます。

■専門分野

アメリカ哲学

■主な著書・論文

『プラグマティズム入門』(筑摩書房)

井上 克人 関西大学名誉教授

⑨ 2021年3月13日 [土] 午後1時30分
若き西田幾多郎と明治という時代

⑩ 2021年3月14日 [土] 午前10時00分
明治アカデミー哲学の系譜から見た西田哲学

■講師、講座の紹介

高校時代(明治20年前後)、金沢の街を歩きながら「実在は現実そのままのものでなければならぬ」と考えた西田は、やがて真実在を主客未分の「純粋経験」と捉え、そこからすべてを説明する立場を貫きました。西田を「明治人」として捉え直し、若き西田の思索の源泉を、その時代背景から考えます。

■専門分野

日本哲学、比較思想、宗教哲学

■主な著書・論文

『西田幾多郎と明治の精神』(関西大学出版部)